

(For School teacher)

Form 5

平成 21 年 7 月 2 日

サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書

1. 参加機関(学校名)・担当者: 武庫川女子大学附属高校 北川 英基
 2. 参加研究者: 神戸大学大学院農学研究科 Galina zamfirova 博士と Tsenkova 教授
 3. 実施日時: 平成 21年 6月26日 (金) 14:30~16:00
 4. 参加生徒: 高校1年生 39人、高校2年生 38人、高校3年生 34人 (合計111人)
備考: 高等学校SSHコースの生徒全員
 5. 講演題目: (英文) Plant genetics and inheritance. Bulgarian traditions and culture
(和文) 「植物遺伝の基礎」 「生き物の世界を目で見えない光で覗く」
 6. 講演概要: Zamfirova 博士:ブルガリアの文化・生活を紹介された後、遺伝子の話をされた。生物にとって生命活動の基本となるDNAの研究が、ご自身の研究テーマとも絡んでくること、また、DNAの「研究や遺伝学が生徒たちにとっても大切であり、しっかり学習するようにと強調された。
Tsenkova 教授:近赤外線を利用した研究の実態をお話し頂いた。ミカンなどの糖度の測定、血流の状態の測定など、身近なところに近赤外線が使われていること、この技術を用いてヒトや動物の健康状態を知ることができるようになるかもしれないと、将来の展望も話された。
 7. 使用言語: 英語
 8. 講演形式:
 - (1)講演時間 70分 質疑応答時間 20分
 - (2)講演方法 (例:プロジェクター使用による講演、プレ実験など)
プロジェクター使用による講演
 - (3)通訳 (例:受入研究者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
外国人研究者本人による日本語説明
- 協力者 職・氏名
-
- (4)事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
9. 支給経費: 交通費 宿泊費 謝金
 10. その他特筆すべき事項: